

人にも環境にもやさしい「持続可能な」国土・都市の実現を目指して



環境学研究科附属持続的共発展教育研究センター 臨床環境学コンサルティングファーム部門
地域戦略研究室 / Education and Research Center for Sustainable Co-Development (SusCoDe)

教授 加藤博和 / Professor Hirokazu KATO

都市環境学専攻、工学部環境土木・建築学科環境土木工学プログラム、減災連携研究センター兼任

<http://orient.genv.nagoya-u.ac.jp/kato/Jkato.htm>

「環境にやさしい交通や都市かどうか、どうすれば分かりますか？」

そこで... 「ライフサイクルアセスメント(LCA)」という手法を用いて、低炭索性や省エネルギー・省資源性など、都市・地域や交通システムの「環境へのやさしさ」評価手法を開発し、普及にも取り組んできました。

「環境にやさしいと言われても、それだけではやる気にならないですね？」

そこで... 都市・地域の魅力を生活の質(QOL)指標で評価するとともに、都市の維持にかかる費用も同時に計算する方法を開発しました。また、災害発生によってLCA結果と合わせて都市・交通システムの方向性を具体的に検討したり、それを実現するための政策や制度のあり方を提案したりしてきました。

インターンシップ テーマ1:
創蓄省エネルギーを実現する都市構造を明らかにする (GISの活用)

「言っていることはもっともでも、世の中で実現しないと意味ないですね？」

そこで... 土木工学出身者として、名古屋市をはじめ様々な現場で、人にも環境にもやさしく災害にも強い都市・地域実現を目指すプロジェクトに参画し、現場でありがたがっていただける「臨床医」を実践しています。それができる、俯瞰力と現場力を持ち合わせた人を育てる「臨床環境学」の創成に携わり、ORT(On-site Research Training)プログラムの確立やコンサルティングファームの活動も進めています。

インターンシップ テーマ2:
地域公共交通計画づくりに関わる(現地調査やデータ集計・解析からニーズをさぐる)

“Think globally! Act locally!” 地球の将来を見つめながら、現場で着実に貢献できる「仕事人」づくりに取り組んでいます！
さあ、私と一緒に勉強し活動しませんか！

加藤博和

検索

